

5月2日さいたま市長メッセージ

皆さんこんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

こちらは、「盆栽界の至宝」と呼ばれる、五葉松の「日暮し」のレプリカです。一日見ているだけでも飽きないということから名付けられたという、その名のとおり、自然の力強さと気品を感じる素晴らしい盆栽です。

この「日暮し」の実物は、大宮盆栽美術館に所蔵されていますが、美術館のある大宮盆栽村が、来年、開村100周年を迎えます。

この100周年の機運を盛り上げていくために、大宮盆栽村の若手盆栽師と市が協働して、記念ロゴマークを作成しました。メインロゴには、中心に「日暮し」を配置したほか、文字のかすれ部分は、盆栽の見どころである、幹の枯れた部分、いわゆる「シャリ」を表現しています。

使用基準を満たせばどなたでもお使いいただけますので、多くの方にご利用いただきたいと思います。

そして、これまで続いてきた、この盆栽文化を次の100年に繋げていくために、5月1日からクラウドファンディング型ふるさと納税を開始します。集まった資金は、盆栽のプロモーション事業や、お子様へのミニ盆栽贈呈事業など、次世代へ盆栽文化を継承する取り組みに使わせていただきます。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

いよいよ、5月3日からは、毎年の風物詩となった「大盆栽まつり」

をはじめ、^{さまざま}様々な^{ぼんさいかんれん}盆栽関連のイベントが^{かいさい}開催されます。ぜひ^{かいじょう}会場に
お越^こしいただき、^{ぼんさいし}盆栽師によるライブパフォーマンスやワークショ
ップなど、^{おおみやぼんさい}大宮盆栽の^{みりよく}魅力を^{たんのう}堪能してください。